

令和6年度事業計画書

[令和6年2月1日より令和7年1月31日まで]

1. 学術講演会、研究会等の開催（定款第5条1項の1）

- ・一般社団法人日本内科学会令和6年定時総会を下記の通り行う。
開催日 令和6年4月12日（金）
会場 東京都・東京国際フォーラム 参加予定者数 40,600人（委任状含）
- ・第121回日本内科学会講演会を下記の通り行う。
会長 渥美 達也（北海道大学）
会期 令和6年4月12日（金）～令和6年4月14日（日）
会場 東京都・東京国際フォーラム 参加予定者数 43,000人（Web配信含）
テーマ ひとをみる，おしえる，実行する
会長講演，特別講演，招請講演5題，シンポジウム3題，パネルディスカッション，教育講演18題，一般演題223題，CPC，医学生・研修医・専攻医を対象とした企画，働き方改革・ダイバーシティ公開シンポジウム等
- ・第52回内科学の展望を下記の通り行う。
会長 吉治 仁志（奈良県立医科大学）
開催日 令和7年1月19日（日）
会場 奈良市・なら100年会館 参加予定者数 2,500人（Web配信含）
テーマ 臓器機能不全の未来予想図—Future Prospects for Organ Failure—
- ・支部の事業として行う学術集会（地方会）は，北海道，東北，関東，信越，東海，北陸，近畿，中国，四国および九州の10支部において35回開催する。
参加予定者数 26,000人（Web配信含）

2. 学会誌、学術図書等の発行（定款第5条1項の2）

- ・和文誌「日本内科学会雑誌」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和6年2月10日	113	2	115,200部
2月20日	113	臨時増刊	115,400部
3月10日	113	3	116,300部
4月10日	113	4	117,600部
5月10日	113	5	119,200部
6月10日	113	6	119,800部
7月10日	113	7	119,800部
8月10日	113	8	119,800部
9月10日	113	9	119,800部
10月10日	113	10	120,300部
11月10日	113	11	120,300部
12月10日	113	12	120,500部
令和7年1月10日	114	1	120,700部

- ・英文誌「Internal Medicine」は電子ジャーナルのみの発行（年24回）とし，一般公開する。

3. 研究及び調査の実施（定款第5条1項の3）

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修に必要な一定規模と教育環境を有する施設の調査を実施する。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条1項の4）

- ・第37回内科学会奨励賞を表彰する。

勝又 諒：「大腸メラノシスの疫学と臨床的意義の検討」
田畑 優貴：「DAA治療がC型非代償性肝硬変の臨床経過に与える影響」
戴 哲皓：「心筋組織におけるDNA損傷は原疾患によらず左室駆出率の低下した心不全の治療反応及び予後を予測する」
溝渕 公規：「心房細動による大動脈内膜への影響：大動脈内視鏡研究」
大田聡一郎：「遺伝子検査で確定診断した、グルココルチコイド反応性アルドステロン症の2症例」
平塚 健：「Organoid-on-a-chipを用いたARPKDの疾患モデリングと新規治療薬の同定」
酒井 菜摘：「ベンラリズムマブによる粘液栓への効果」
後藤 憲彦：「LMS法による最大吸気量予測式の作成と検証」
辻 紀章：「再生不良性貧血における新たな免疫逃避機構の同定」
保田 駿一：「DLBCLの病期決定におけるPET-CTの有効性」
松菌 構佑：「稀少なプリオン遺伝子難病に対して、iPS細胞を用いたドラッグ・リポジショニングが有効性を示したトランスレーショナル研究」
住吉 玲美：「腫大リンパ節領域数からのキャッスルマン病/TAFRO症候群の臨床的特徴の解析：全国レジストリを用いた米国との比較検討」
山下 駿：「感染性心内膜炎予測モデルの精度向上研究：多施設後ろ向き症例対照研究」
沖田 啓：「がん悪液質に対するアナモレリンの有効性及び安全性に関する後方視的検討」

5. 認定医及び認定施設の認定（定款第5条1項の5）

- ・資格認定試験を下記の通り行う。

第4回 内科専門医 資格認定試験

実施日 令和6年5月26日（日）

会場 横浜、神戸の2地域に試験会場を設ける予定

第52回 総合内科専門医 資格認定試験

実施日 令和6年11月10日（日）

※夏期に目立つ気象災害リスクを避けるため、試験実施時期を従来の9月より変更する。

会場 横浜、大阪の2地域に試験会場を設ける予定

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修を行う教育施設を調査に基づき認定審査する。

6. 生涯学習活動の推進（定款第5条1項の6）

- ・生涯教育講演会を下記の通り開催する。

2024年度生涯教育講演会Aセッション

会長 猪阪 善隆（大阪大学）

開催日 令和6年5月12日（日）

会場 大阪市・大阪国際会議場 参加予定者数 3,100人（Web配信含）

2024年度生涯教育講演会Bセッション

会長 有馬 寛（名古屋大学）

開催日 令和6年7月21日（日）

会場 名古屋市・名古屋市公会堂 参加予定者数 3,100人（Web配信含）

2024年度生涯教育講演会Cセッション

会長 柴垣 有吾（聖マリアンナ医科大学）

開催日 令和6年6月23日（日）

会場 東京都・東京国際フォーラム 参加予定者数 3,100人（Web配信含）

- ・各支部生涯教育講演会は10支部において22回開催する。 参加予定者数 14,960人（Web配信含）
- ・セルフトレーニング問題を実施する。 参加予定者数 22,000人
- ・会員の生涯教育のための生涯教育システムの運用
（講演会のオンデマンド配信、セルフトレーニング問題の受講を含む）

7. 救急救命講習会の開催（定款第5条1項の5及び6）

- ・内科医の質の向上のための救急救命講習会を7回，指導者講習会を7回開催する.

8. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第5条1項の7）

- ・日本医学会連合，日本専門医機構，内科系学会社会保険連合，日本医療安全調査機構等の活動に積極的に参画する.

9. 国際的な研究協力の推進（定款第5条1項の8）

- ・国際内科学会及び米国内科学会の活動に積極的に参画する.

10. 社会に対する内科学の進歩の普及及び医療への啓発活動（定款第5条1項の9）

- ・禁煙推進学術ネットワークの活動に参画する.
- ・市民公開講座を下記の通り開催する.
 - テーマ 科学の進歩と未来の医療：2048年の医療はこうなる？
 - 開催日 令和6年3月20日（水・祝日）
 - 会場 札幌市・かでのアスビックホール

11. 新専門医制度の実施，運用（定款第5条1項の5及び10）

- ・新専門医制度の円滑な実施，運用に注力する．特に内科専攻医の研修履歴及び実績の登録，その評価と専攻医のさらなる育成など専攻医登録評価システム（J-OSLER）を活用し管理・運営を行う.

12. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条1項の10）

- ・内科の重要性について，広く一般市民や若手医師に向けて広報活動を推進していく.
- ・情報化の検討・推進
 - Webによる情報発信，各種コンテンツの提供，学会業務のシステム化などの情報化を段階的に推進する.
- ・日内会館の管理・運営等